



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所 東証一部
コード番号 4694 URL <http://www.bml.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)福田 和太
問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員 経営企画部長 (氏名)山下 勝司 TEL (03)3350-0111
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月6日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	47,852	2.5	3,727	26.4	3,834	22.9	1,978	18.0
24年3月期第2四半期	46,694	12.7	2,949	△32.6	3,120	△29.6	1,676	△27.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,114百万円(10.9%) 24年3月期第2四半期1,907百万円(△16.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	93 17	92 93
24年3月期第2四半期	78 97	78 78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	81,761	51,351	60.3
24年3月期	79,718	49,696	59.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 49,304百万円 24年3月期 47,756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
25年3月期	—	20 00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	3.0	6,800	28.3	7,000	33.9	3,700	54.7	174 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社、除外 ー 社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	22,007,363株	24年3月期	22,007,363株
25年3月期2Q	772,331株	24年3月期	772,311株
25年3月期2Q	21,235,041株	24年3月期2Q	21,230,972株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

医療業界は、国民医療費が高齢化の進行や医療技術の進歩を背景に過去最高を更新する中で、医療の質の向上や効率的な医療の実現に向けた各種制度改革が実施されています。

当期の受託臨床検査業界は、2年毎に実施されている診療報酬改定の年度に当たり、検体検査に係る保険点数（公定価格）は、全体として大きな引き下げはなかったものの、業者間競争の激化に加え、病院経営の改善意欲が強いことなどから、受託価格は弱含みで推移しています。

こうした環境の下、当社グループは、臨床検査事業については、引き続きクリニック市場の開拓を図るとともに、大型施設へのFMS／ブランチラボ方式（検査機器・システムなどの賃貸と運営支援／院内検査室の運営受託）による提案営業に加え、特定項目のキャンペーン展開による既存施設への深耕営業などにより、事業基盤の拡大を図りました。グループ戦略としては、本年3月に北海道地域の子会社を合併し、新たに(株)第一岸本臨床検査センター（北海道札幌市）を発足させ、経営統合を進めております。併せて、本州地域における統合効果推進のため、新会社の本州事業部門を当社に吸収分割しております。また、九州地域におきましては、本年2月に(株)九州オープンラボトリーズ（QOL）の傘下主要会社のメインラボを統合し、検体検査を専門に行う新会社として(株)QOLセントラルラボトリーズ（福岡県福岡市）を設立し、5月より本格稼働させ、検査サービスの向上ならびに検査部門の効率化を図っております。これらの結果、同事業の売上高は前年同期比2.6%の増収となりました。利益面についても、数量効果に加え、前期に発生した(株)岸本医科学研究所の統合に関わる一時的費用のほか、震災関連費用や節電対策費用などが今期はなかったこと、(株)第一岸本臨床検査センターのメインラボの統合や業務の見直しなどにより収益改善が進んだことから、大幅な増益となりました。

その他検査事業である食品衛生事業は、(株)BMLフード・サイエンスが腸内細菌検査受託数量の増加や食品衛生コンサルティング業務で店舗点検の新規受注が順調に増加したこと、栄養成分表示に関する検査受注も堅調に推移したことにより、増収増益となりました。

医療情報システム事業については、昨年より販売を開始した診療所版電子カルテの新製品「クオリス（Qualis）」を主力商品と位置付け、従来製品の多機能型電子カルテ「メディカルステーション（MS）」と合わせて新規契約の獲得に努めました。しかし、第1四半期は保険点数改定交渉に営業力を割かれたことなどから計画台数未達となり、同事業の売上高は前年同期比4.1%の減収となりました。

その他事業については、SMO*事業を営む(株)アレグロが、厳しい市場環境が継続する中、新規受託が堅調に推移し、売上高は前年同期比3.0%の増収となり、利益面も改善しております。

これらの結果、当第2四半期連結業績は、売上高47,852百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益3,727百万円（前年同期比26.4%増）、経常利益3,834百万円（前年同期比22.9%増）、四半期純利益1,978百万円（前年同期比18.0%増）となりました。

※SMO：特定の医療機関（治験実施施設）と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関をいう。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産81,761百万円（前期末比2,043百万円増）、純資産51,351百万円（前期末比1,654百万円増）、自己資本比率60.3%（前期末比0.4%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では、流動資産で現金及び預金が1,847百万円、受取手形及び売掛金が751百万円増加しています。また、有形固定資産で建物及び構築物が269百万円減少し、無形固定資産でのれんが366百万円減少しています。負債の部では、流動負債で支払手形及び買掛金が526百万円増加し、未払法人税等が162百万円減少しています。また、固定負債で退職給付引当金が150百万円増加しています。純資産の部では、利益剰余金が1,551百万円増加しています。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前年同期に比べ224百万円増加し、18,443百万円となりました。各活動区分別のキャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は、以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、4,896百万円の資金収入（前年同期比953百万円増）となりました。これは主に、売上債権の増減額が516百万円の収入増となったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,056百万円の資金支出（前年同期比1,563百万円増）となりました。これは主に、定期預金の預入れによる支出が1,008百万円、有形固定資産の取得による支出が241百万円、無形固定資産の取得による支出が266百万円、それぞれ増加したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,050百万円の資金支出（前年同期比2,525百万円減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が2,565百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移することが見込めるため、期初の予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,335	20,183
受取手形及び売掛金	16,843	17,594
商品及び製品	291	308
仕掛品	422	438
原材料及び貯蔵品	1,363	1,340
その他	2,410	2,268
貸倒引当金	△101	△108
流動資産合計	39,566	42,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,103	9,834
土地	12,834	12,821
その他(純額)	6,867	7,013
有形固定資産合計	29,806	29,670
無形固定資産		
のれん	2,755	2,388
その他	2,649	2,738
無形固定資産合計	5,404	5,126
投資その他の資産		
その他	5,178	5,101
貸倒引当金	△236	△162
投資その他の資産合計	4,941	4,939
固定資産合計	40,151	39,736
資産合計	79,718	81,761
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,833	11,360
短期借入金	1,036	1,036
未払法人税等	1,986	1,824
その他	8,011	7,892
流動負債合計	21,868	22,113
固定負債		
退職給付引当金	4,298	4,449
役員退職慰労引当金	91	97
その他	3,762	3,749
固定負債合計	8,152	8,296
負債合計	30,021	30,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,646	6,646
利益剰余金	36,196	37,748
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	47,638	49,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	114
その他の包括利益累計額合計	117	114
新株予約権	76	76
少数株主持分	1,864	1,970
純資産合計	49,696	51,351
負債純資産合計	79,718	81,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	46,694	47,852
売上原価	29,569	29,949
売上総利益	17,124	17,903
販売費及び一般管理費	14,175	14,176
営業利益	2,949	3,727
営業外収益		
受取配当金	18	56
不動産賃貸料	48	39
その他	172	113
営業外収益合計	239	210
営業外費用		
支払利息	46	41
不動産賃貸原価	10	21
その他	11	39
営業外費用合計	68	102
経常利益	3,120	3,834
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	9	55
持分変動利益	592	—
その他	28	7
特別利益合計	629	63
特別損失		
固定資産除却損	16	7
抱合せ株式消滅差損	15	—
その他	14	4
特別損失合計	46	11
税金等調整前四半期純利益	3,702	3,886
法人税、住民税及び事業税	1,976	1,828
法人税等調整額	△82	△59
法人税等合計	1,894	1,769
少数株主損益調整前四半期純利益	1,808	2,117
少数株主利益	131	138
四半期純利益	1,676	1,978

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,808	2,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	△3
その他の包括利益合計	98	△3
四半期包括利益	1,907	2,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,775	1,975
少数株主に係る四半期包括利益	131	138

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,702	3,886
減価償却費	2,330	2,390
のれん償却額	382	367
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	△69
退職給付引当金の増減額(△は減少)	115	134
支払利息	46	41
持分変動損益(△は益)	△592	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,196	△679
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32	△9
仕入債務の増減額(△は減少)	729	523
未払消費税等の増減額(△は減少)	118	△153
その他	△23	400
小計	5,561	6,832
利息の支払額	△46	△41
法人税等の支払額	△1,633	△1,993
その他の収入	61	98
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,942	4,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40	△1,049
有形固定資産の取得による支出	△1,080	△1,322
無形固定資産の取得による支出	△317	△584
その他	△53	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,492	△3,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△103	—
リース債務の返済による支出	△392	△541
長期借入金の返済による支出	△2,617	△51
配当金の支払額	△424	△424
その他	△37	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,575	△1,050
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,125	789
現金及び現金同等物の期首残高	17,308	17,590
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	17	53
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,957	10
吸収分割に伴う現金及び現金同等物の増加額	57	—
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	4	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,219	18,443

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）
該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

検査区分		前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業					
	生化学的検査	19,687	42.2	19,843	41.4	0.8
	血液学的検査	3,986	8.6	4,033	8.4	1.2
	免疫学的検査	9,527	20.4	9,804	20.5	2.9
	微生物学的検査	2,667	5.7	2,713	5.7	1.7
	病理学的検査	3,089	6.6	3,142	6.6	1.7
	その他検査	4,307	9.2	4,835	10.1	12.2
	(臨床検査事業小計)	43,266	92.7	44,374	92.7	2.6
その他検査事業	1,676	3.6	1,791	3.8	6.9	
	検査事業小計	44,942	96.3	46,165	96.5	2.7
医療情報システム事業		1,647	3.5	1,579	3.3	△4.1
その他事業		104	0.2	107	0.2	3.0
合計		46,694	100.0	47,852	100.0	2.5

(注)金額には、消費税等は含まれておりません。